

うまいよ! るもい市 実行委員会

生産者と消費者の「顔が見える」 安全安心な地産地消の展開

活動分類

■食・産業・観光

活動背景・目的

地場産品に対する消費者の理解と認識を深め、地域活性化に貢献する。

地域の漁業関係者、農業関係者、水産加工業者、その他食品産業など約20の異業種団体が連携して実行委員会を組織。消費者の地場産品に対する理解を深め、地域産業全体の消費拡大と地域活性化を図ることを目的に、留萌港にある留萌市地方卸売市場で地場産品の即売会「うまいよ! るもい市」を開催しています。旬の地場産品の提供の他、アトラクションなど工夫を凝らした内容で、札幌市を始め道内各地から4,500人(R6)を集客するイベントとなっています。

代表者: 米倉 靖夫

連絡先:

〒077-0048 留萌市大町2丁目3-1

(海のふるさと館内)

NPO 法人留萌観光協会

うまいよ! るもい市実行委員会事務局(佐藤)

TEL: 0164-43-6817 FAX: 0164-56-0585

活動地区: 留萌市

活動内容

【季節ごとの農・水産物をその場で】

ホタテの詰め放題など趣向をこらした遊び感覚のアトラクションの他、農水産物直売、地元グルメ屋台など「留萌の旬」を提供。購入したものはその場で食べられるように炭焼きコーナーも設置しています。

【地産地消と地域交流の場として】

地元高校生が開発した「KAZUMO ちゃん焼き」の販売、地元漁師による水産加工品の直売など、うまいよ! るもい市は、地元食材の認識を広め、消費者との相互理解を深めることで地産地消と異業種交流の拡大が図られる場となっています。

【関係機関との連携】

留萌開建港湾業務艇「ゆりかもめ」によるみなど見学会の実施や、海上保安部船内見学会など関係機関との連携により、うまいよ! るもい市は特色あるイベントとなっています。



▲開催案内ポスター(2024年)



▲出店団体による販売会の様子



▲商品をその場で食べられる炭焼きコーナーの様子

今後の展望・課題など

○展望

NPO法人留萌観光協会が中心となり、地域生産者が自ら生産し販売していく体制を強化していきます。

○課題

平成17年度に組織化し事業展開しているが、経済情勢の変化、消費者嗜好の変化に伴い、年々消費動向が変化している。このため、時代のニーズにマッチした価格の設定と商品を把握し、イベントのマンネリ化を防止し継続した地場産品の提供に努めていく必要があります。